

刊夕日八十月六

# 常警日新聞

定価一ヶ月五拾五圓 郵税五圓  
 廣告料五拾二字一圓 行金五拾圓  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警日新聞社  
 電話 六三〇  
 印刷所 常警日新聞社

## 國民運動の提唱

松本清之丞

祖國日本は今や未曾有の國難に據し非常時局に當面してゐる、此の非常時難を打開し輝ける明日に導かんとするには舉國一致左の綱領を體する國民運動に依てのみ解決のほかなしと信ず即ち從來の無産運動極左より極右に至る迄客觀狀勢を無視したる認識不足の主義方針闘争を通じては決して我國民の生存権の確立や無産階級の解放は期し難いものである、否斷して一君万民の我日本は救ひ得ないのである、資本主義の盛期に於てこそ社會主義運動の公式的發展並に社會民主主義運動の特殊の發展はありうるものである。

然るに其盛期僅かに十數年に達せざる我日本の資本主義は自由主義的資本主義より今や獨占資本主義に入つて世界的資本主義の危期(没落期)に當面し今又歐米の進展動向(國民的民族)の壓力下に置かれんとす。  
 茲に於て東亞の日本は舉國一致建國の本義に基き皇道の大旗を掲げて全國的國民運動に依て立つ事は最も

緊急欠くべからざる任務であり、使命でなければならん、即ち内は國內思想の統制國家統制經濟を初めとし外は滿蒙經濟と國內經濟との融和統制を計り人權平等資源平衡の原則の上に新世界秩序の創業を期せねばならん。  
 茲に於て從來の無産運動諸努力の實体は必然的に改誤せらねばならん、即ち國內個々の勞資闘争を轉じて産業資本家を初め中産無産の各階級が協力一致して誤れる自由主義以來の政治の改革に突進しなければならん、そこに各階級に於ける一連相通する建國以來の血の流れあり、愛國の信念あり、皇道即國民道の間は介在する非國民的壓力を打倒する任務と使命が見出さるゝのである。

此の道こそ國運打開の武器であり皇道の大精神に添ふ所以である、茲に於て天下國憂の士と共に新國民運動を開始し、一國一黨の理想に向つて眞に國民總意の反映たる天皇政治の徹底を期するものである。

多美枝



貯金は福島貯蓄へ

預金には税金が、りません  
 御子様のため貯金

平町田町(新道通り清水醫院跡)  
**福島貯蓄銀行**  
 平支店  
 電話三〇八番

預金と拂出し御融通も懇切御便利を旨とし  
 月掛貯金には集金人が伺ひます

夏の通學服

丈夫で輕快な

霜降小倉服  
 値段も下記の廉價提供

小学生用……¥0.30  
 同[特製]……¥1.00  
 中学生用……¥1.75

おみやや洋服店 平電二〇三

正確な時計

お客様本位の……

好適の眼鏡

平一常盤屋時計店

磐城セメント會社特約店

# 久全産屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし  
 □確實敏捷は久の生命なり

花柳科専門

# 木村科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際  
 電話三〇九番

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

金銀高價買入ます

プラチナ

平町田町丸新デパート  
 假營業所

# 根本時計店

# 原始時代其の儘に 物々交換始る

## 益々生活窮迫する炭焼人 一俵の米に木炭は十九俵

石城郡石住、具泊地方山間方面に於ける炭焼人は東京方面へ移出する仲賣人が出荷を極力制限して居るので非常な生活恐慌を來し日用品の購入は主に物々交換の姿となり米一俵は十四俵の木炭を以つて交換し飢をしのぎつゝあつたが最近では木炭の需要期を失し値段が下落した爲め從來の十四俵では交換する者なく己むなく十九俵の木炭を積んで米一俵と交換する有様で炭焼人の生活は益々苦境に喘ぎつゝあると

## 江名漁船が 鯉七千漁獲

### 今朝早々入電

石城郡下各海邊では鯉漁場の移動を待ちわびて居るが目下の漁場は千葉縣銚子沖より茨城縣鹿島沖三四百哩の地点にあるので本郡の盛漁期は來月下旬頃と見られて居る尙今朝江名町の鯉漁船一隻が鯉七千餘を茨城縣の湊町に水揚せる旨入電があつたと

## 鯛廿七割 不漁で高値

昨日石城郡豊間海岸にメジ五百貫水揚され相場は七八割である外鯛の漁獲は少なく二十七割の高値を見て居ると

### 磐崎疫病豫防

石城郡磐崎村青年團並びに防疫

## 衛生部役員 磐中で決定

既報磐城中等學校に於ては本年度より衛生部を設けたが本日本部長に梅森教諭、理事に高清水、本多、横井、國分、小松、庄司の各教諭就任した

### 橋本校長指導

磐城中等學校長橋本文壽氏は本日午前九時より平第二小學校に於て唱歌、國史十時半より第一小學校に於て算術家事各々公開教授の指導をなした

## 悪水 豫防 縣移管に 明日代表者出縣

平町外二ヶ村の水害豫防組合では組合費を以つて今後諸左事に當る事は一層農村の經費を高めるのみで到底其負擔に耐えずとなし同工事の縣廳移管を叫ばれて居り明日午前七時二十五分平發列車にて伏見平町長、吉田委員、内郷村より杉並四家兩委員、飯野村よりは

## 飛行機の 四倉着陸

### 浴客吸引策

石城郡四倉の海水浴場組

合では去る十六日午後一時より大河原組合長方に總會を開き料金の協定及び浴客吸集策として東京新聞社に依頼して飛行機の海岸着陸新舞子の宣傳等に就いて協議を行つた

## 鐘が鳴る

### 教會堂の空高く 和やかな音律を

平町鍛冶町宮田誠吉君は今度南町の日本基督教會堂へ教會鐘(チャーチベル)を寄贈した、喜んだ同教會では明日の日曜日午前十時と午後七時半とに集會を報ずる爲めにこの鐘を打ち鳴らすとの事であるがゆるやかに流れる鐘の音律は平町の空に宗教的雰囲気を感じ出して生活苦闘に疲れた人々の心に和やかな氣分を盛り上らしむる事であらう

## 平町補装道路 更に又猛運動

### 更に又猛運動

既報平町本町通り道路補装工事は内務省の都合で打切られ其儘となつて居るが同工事を以つて失業救済にも當ると昨日の土木委員會にて協議の結果飽迄同工事の實現を計る事となり明朝大森、花澤、荒川(恒)の三町議が出縣在福中の鈴木代議士の斡旋で其筋へ陳情する事になつたと

## 公開教授批評

平町各小學校にては本日午後一時より公開教授の批評會を開いたが結果頗る良好好評を博した

## 勝者何れに? 明日磐陽の野球

既報磐陽野球大會平商對磐炭の戦は明日午前九時より磐中グランドに於て開かれるが昨年の大會に於て入山を六對二で破つた磐炭今年も優勝するか亦今や選手揃の平商がどの程度迄戦ふか頗る興味多きものあり去る四月磐炭との對抗戦に十對七で勝つた平商の戦

跡より見て此れ亦悔り難く投手赤坂の調子狂はざる限り九分通り の勝味あると見られてゐるまた一方磐中對遊友の戦は明日正午より磐中グランドに於て行はれるが如何に遊友善戦するとは言ひ條今迄の戦跡より見て磐中凱歌を奏するに至るべく只測り知れないのは技術伯仲にある磐中對入山の戦ひで

### 結局今年 の優勝は入山か平商か果亦磐中か明日の戦ひこそ人氣の焦点にあるので一般ファンに期待されて居る

### 負られぬ戦ひ

磐中庭球部保原へ  
磐城中等學校庭球部にては來月二十三日保原中學コートに於て開催される縣下中等學校体育大會の庭球試合に左の如く出場選手を決定したが昨年優勝した手前今年

### 平町 人事

△五丁目一〇當時双葉郡久之濱町南町四六草野源吉 氏次男通  
△長橋町一六菅原平十郎氏 (二八)埼玉縣秩父町大宮 一〇八二福田きく(二七)  
△二丁目三櫻井好子(二ツ)

## 漆器は共が専門

品質の正確と!!!  
値段の破格と!!!  
在庫品豊富と!!!  
懸命の奉仕は!!!  
弊店モットー!!!

### 丸共共漆器店

各國産漆器 専門卸小賣  
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)  
記念表彰品 進物贈答品  
恩賜賞品 賞品景品類 御注文應調製  
◎店員募集(十三才より二十三才まで)

一齒一科 東京醫學士 中村文一  
平町鍛冶町 吉田吳服店西隣

### S.O.Sの庭家

## 新こんホームは 空巢を襲はれる

### これから一番危険な時期 コソ泥が猛烈に横行する

### 平第一校 懇話會

廿日から開く

初夏から秋にかけて一家打ちつれての楽しい夜の散歩も又得難い歡樂である然しこの一家を留守にしての夜の散歩は頗る危険で斯ふした時期には空巢視ヒコソ泥等がすきをうかゞつてゐるこんな時に一家をルスにすることは恰も泥棒を歓迎する様なものである又夜の歩き殊に夜店などの素見に立つて居る間によく懐中物をすられる事があるが共に各自が充分の注意を拂つてもらひたいと平署の希望である

平第一小學校にては既報の如く明後二十日より一週間各學年別に父兄姉妹懇話會を催すが午前八時より十時迄實地教授をなし終つて成績物一覽及び懇話を行ふ豫定である

東郷元師寫像 平町各小學校にては本日教育資料として各々東郷元師の像を購入した

### 松本清之丞氏

## 斷然白色化

### 國家愛を自覺して 無産黨と絶縁

日本勞農大衆黨磐城支部長を辭任すると共に同黨を脱した平町町松本清之丞氏の

思想轉向は既記の如くであるが突然左記の如き綱領、主張を發表し

歴史の必然的進展段階に直直し皇道の大精神に基く國家統制經濟の實現を

計り人類愛に立脚せる祖國日本の擴大強化を期す

我等は使命貫徹の爲め國民の總意を時局に反映せしめ積極的動力を以て皇道即國民道の間際に介在する一切の政治壓の打倒を期す

且つスローガンに於ては「無産黨出直すべし」「日

本共產黨解体すべし」として從來の無産陣營と絶縁せる心境を明らかにし然も「實行即反映の國民的結集力を以つて政治の改革へ突進せ

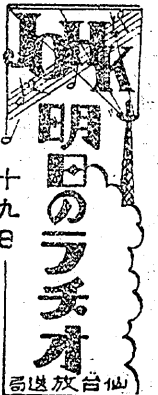
### 滿洲から

藤田氏の通信

南嶺一寛城子一ハルピン大興一嫩江一チ、ハル等の戦跡を隔なく視察其英靈を弔ひ北滿の日程終つて一旦歸奉即時南滿洲の行進に上る、本日遼陽一首山壁を経て鞍山に着、製鐵所を見學久留島秀三郎氏に面接す本夜行にて金州の大連に向はんとす(十二日午後八時、鞍山車中にて 藤田榮助)

よ」と一路フアツシヨ運動への没入を宣明するに至つた同氏が斯く思想的轉換を來すに至つた動機は病床中に在つて

民族的意識の濃度は到底全人類のマルキシズム的結合を完成し能はざるものであるとの静觀を得國家的に自覺する處あり然も飽迄尖鋭化する國民的の總意を糾合し



### 明日のラジオ

十九日

### 今晚の部

後六〇〇 趣味講演「傳書鳩の飼ひ方」松本豊吉  
後六二〇 コドモの新聞  
松内則三  
後六二五 ガレントトビ  
ソクネ、ハロルド、バリー  
後七三〇 講演「上海事變に關して全國の皆様へ」第九師團長陸軍中將植田謙吉  
子供の夕一  
後八〇〇 唱歌劇「戦争

### 明日の部

後九一〇 榮養料理「胡方に尖端を切つた此の運動の成行きこそ蓋し注目にするものがある

## 暴れる

### ジヤズに 附近の迷惑

### 署長の注意で 深夜は御法度

平のカフェー街、常磐銀行前田町通りの各カフェーは營業政策上ネオンの刺撃と共に競争的に使用する擴聲器から飛出すジャズの騒音が夜半の十二時頃迄も續き爲めに安眠を妨げられ迷惑を蒙る附近の一般商家では

## 一度に

### 一家三名が 腸チブスに罹る

平署管内本年度の傳染病發生率は昨年同期に比較して

瓜を争ふ蟹と牛」(研究所)  
前九三〇(子供の時間)お話「小布の造花」大妻コタカ  
前一〇〇〇「献納飛行機愛國號命名式狀況」代々木練兵場より中繼  
前一〇〇〇 宗教講話「觀音の三昧と日常生活」大槻快尊  
前一〇四〇 講演「未來の空中戦」帝國飛行協會總務理事陸軍中將四天王延存  
前一、一〇〇 謠曲講座「謠の道しるべ」(二三)實演觀世左近、解説池内信嘉  
後〇、五〇 放送歌劇「カ

瓜を争ふ蟹と牛」(研究所)  
前九三〇(子供の時間)お話「小布の造花」大妻コタカ  
前一〇〇〇「献納飛行機愛國號命名式狀況」代々木練兵場より中繼  
前一〇〇〇 宗教講話「觀音の三昧と日常生活」大槻快尊  
前一〇四〇 講演「未來の空中戦」帝國飛行協會總務理事陸軍中將四天王延存  
前一、一〇〇 謠曲講座「謠の道しるべ」(二三)實演觀世左近、解説池内信嘉  
後〇、五〇 放送歌劇「カ

「納税の日掛を集め」云々の平町二丁目元魚清雇人松野浩(三)に關する記事は事實相違の点有り是れを取消す

### 平職業紹介所報告

求人部  
△女中 四十才前後 月五圓(平町某)  
△子守 十五才迄 尋卒 月三圓外面談(平町某)

### 隣り客の 金時計窃取

石城郡湯本町字三函生れ當時住所不定鈴木雄治郎(三)は十六日午前八時頃小野新町驛待合室で居合した郡山市堤下町齊藤源一郎所有金側時計時價三十圓餘の品を窃取せんとして小野新町署に檢舉された由にて本日平署に同人の身元照會があつた

△求職の部  
△自動車助手 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△土工夫 三十五才 尋卒 給料面談(内郷村某)  
△雑夫 四十一才 尋三修 給料面談(湯本町某)  
△運搬夫 二十二才 高卒 給料面談(内郷村某)



# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第七十九席 真庭念流達人櫻井五助

郷藏五助に斬付く

小川の庄兵衛の賭場防ぎ  
荒川郷藏は櫻井五助に初め  
て會うたが、氣の合はぬは  
妙なものでなんとなく二人  
の間に隔たりがある

郷「イヤもう酒は叶かん、  
手前は是にて引揚げる」

云々と音五郎が

音「先生、夜道をかけて小  
川まで歸るは大變だ、今夜  
はこれへお泊りなさい、こ  
の通りお馴染の女も此處に  
居ります」

郷「イヤ明日庄兵衛親分が  
三峰山へ參詣する就て俺も  
同道いたす事になつて居る  
それゆゑ今夜中に戻らねば  
なるまい、櫻井氏今晚はこ  
れでお別れ申す、何れ鞍馬  
流の劍法を御覽に入れるで  
あらう、又其節は貴公の手  
の内も拜見いたす、手前の  
鼻が延びて居つた時は削つ  
て頂く又貴公の鼻が延びて  
居つた時は木劍にてヘシ折  
るであらう」

云々と音五郎が

音「先生、そんな事を云つ  
ては叶けねえ、今笑つたで  
はございませんか笑つた跡  
で怒つては叶けねえ、もう  
一度笑つておくんない、」  
郷「カンラ、か、どうだ

この豪傑笑ひは、イヤ櫻井  
氏大さに失禮いたしたウー  
ン腕がうなり刀が鞘鳴りを  
いたして斬れ〜と申して  
居る、アハ、ハ、ハ、  
と又笑つて馴染の女に伴  
れられて出て行く、それを

て未熟者だ、それで彼奴は  
傲慢だナ劍術が鞍馬流とは  
名詮自稱あの鼻の高サでは  
一生技は上達いたすまい、  
時に音五郎俺は歸るぞ」  
音「まア此處にお在なさい  
お前さんの相方も來て居ま  
す」  
五「イヤこのやうな處には  
居ることは成らぬ、清淨な  
るこの身体を賣女の爲に穢  
されては先祖へ濟まぬ」  
音「お侍といふ者は堅えも  
のだナ、デハわたくし共も  
歸りませう」  
五「イヤ、貴様は此處に居  
ろ」



見送る音五郎

音「あくぬけねえ野郎だナ  
櫻井先生あんな馬鹿者に構  
つては叶けませんよ」

五「面白い奴だナ、豪傑ら  
しく見えるが腕は未熟であ  
らう。知る者は云はず云ふ  
者は知らずと申す事がある  
武藝の講釋を云ふ奴は概し

一緒に行き、先生出懸けま  
せう」  
五「然らば俺と與に引揚げ  
ろ、女共にこれを遣つてく  
れ」  
一兩出した、女は大層喜  
び、二三日内に遊びに來て  
おくんなさい待つて居るだ  
よと揃つて送り出して來た  
音五郎は勘定を拂つて表へ  
出る、時は五月の下旬、空  
は墨を流したやう、北の方  
でビカリ〜光つてゐる  
五「ト降り來るかナ」  
音「降りませぬ、雲はあ  
りませんが南と西が切れてゐ  
ますからどうやら今夜は泣  
ませぬ」

五「大層光るナ」

音「甲州の方は夕立がある  
と見えます」

五「オ、酔つた〜外へ出  
ると俄に酔が出た、俺は一  
體酒には弱いよ、時に音五  
郎貴様達は離れて尾て來イ  
二三丁おくれで參れ」  
音「それはどういふ譯でこ  
ざんす」

五「寄居迄戻る途中で天狗  
が出るぞ、先づ杉林より現  
れるであらう、天狗に杉は  
附きものだ」

音「ヘエ〜天狗が出来ます  
かえ、その天狗は荒川先生  
かね」

五「ウンあの鳥天狗だ、急  
に用事があると申して先へ  
戻つたは俺の歸りを待受け  
て斬つて出るつもりか、賣  
られた喧嘩はよし價は高く  
とも求めずばなるまい」  
音「わたくし共も腕賃をし  
ませう」

五「貴様達の刀を借りるほ

どの事はない、彼が出でた  
ならば、鼻を削ぎ翼を切り  
此後傲慢な事を爲さぬやう  
懲りてくれる、天々の出る  
まで下つてゐろ」  
と云ひすて五助は小話を  
唄ひながら進み行く、荒川  
郷藏は寄居の入口庚申堂の  
後に忍び五助の來るを待受  
けた時に聞ゆる謠、さては  
櫻井參つたかと一刀の柄に  
手を掛けた、五助は堂の前  
に來たがビタリと足を止め  
て四邊へ目を配る、此時躍  
り出した荒川郷藏正面から  
斬り付けた。

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病

**松村** 院 科 醫 院

門專 腸虫病 十二指腸

院 科 醫 院 七〇一話電

運動靴は……

**月星**

品質は斯界の王

名入れ金具付きの

**サーピス**

平田町

**大塚運動具部**

電話七七番

**耳鼻咽喉科専門**

**増田醫院**

平南町 (電話四八二番)

セメント 磐城セメント株式會社

壁用材料

コールタール 代理店 **西村屋藥舗**

ペンキ塗料

板 ガラス 平町二丁目「電三」

**代理店新設**

當地方に古き關係の深い而も業績のよ  
**い安心の出來る 健實なる 有**  
**隣生命** 保險株式會社の代理店を引  
受けました。何卒御利用の程を御願ひ  
致します。

**有隣生命保險株式會社**

平城北代理店主幹 佐々木龍若  
附屬 社員 志賀 寛

内科・小兒科・花柳病科

**藤沼醫院**

入院 需應

平町紺屋町  
電話五〇七番

恩給 年金 立替

簡易保險即時

無盡通帳 賣買

其他債券

平町一丁目一四番地

**鈴木重藏**